

実施日：2021年11月27日（土）9:00～14:00

参加者：4名

学生：8名、現任教員：2名、学外関係者：3名（うち未就学児1名）

担当：杉山、大西

■実施場所：春日山原始林・若草山

■第7回 春日山原始林の自然と課題（春日山遊歩道北部～若草山）

2021年11月27日（土）9:00～14:00

概要：世界遺産・特別天然記念物にも指定されている春日山原始林。指定された背景と現在も残っている史跡や自然の価値などについて学び、体感しながら歩きます。紅葉の春日山は独特の空気が流れています。遊歩道を抜けた先の若草山山頂からは、奈良公園を一望し、奈良の中心市街地に残されている自然環境について学びます。

9:00 春日大社国宝殿前集合

9:10 春日大社見学・参拝

9:30 水谷神社

10:00 春日山遊歩道

10:10 五感の体操

11:00 森で寝転ぶ

11:30 葉っぱジャンケン

12:00 雨天により、十八丁休憩所にて昼食

12:30 若草山山頂・見学

13:00 若草山下山

14:00 解散

■概要報告

春日山原始林北部遊歩道を若草山まで登るフィールドワーク。前日に公開講座で講師に来ていただいたカトリン・フンク氏にも同行いただき、秋の春日山原始林を楽しんだ。今回は「ESDと世界遺産」の受講生も参加したほか、奈良教育大附属中学校の教員のほか、前日講演の関係者なども参加し賑やかな会となった。

冒頭は、カトリン氏もいたこともあり、春日大社を見学・参拝からスタートした。春日山原始林と春日大社の関係について、確認したのち、春日山遊歩道を歩いた。原始林の中では、樹種による成長の違いや照葉樹林の特徴、現在起きている課題として、鹿の採食圧による植生の状況や、ナラ枯れ被害などについても見学しながら確認した。また、「森を体感する」体験として、恒例の目を瞑った五感の体験、森の中で寝転んでみる体験などを行った。紅葉が散りかけた状況であったため、寝転んでいるとシデの黄色い葉が舞い落ちる様子を見るなどゆったりと時間を過ごした。

途中、葉っぱを拾いながら行う「葉っぱジャンケン」を実施しながら散策したが、途中から雲行きが

怪しくなり、雨に振られる。山頂間際であったため、奥山ドライブウェイ入り口の「十八丁休憩舎」にて昼食をとった。ハイカーも多かったため、学生のうちには立って昼食を取るものもいた。その後、雨雲が通り過ぎて晴天となった頃合いを見て、若草山山頂へ到着。山頂からの風景などをながめ、記念撮影などしたのち、下山した。二重目からの大仏殿を見下ろす光景や、春日山・御蓋山・奈良公園と続いて近鉄奈良周辺まで森が繋がっている風景を確認した。下山途中、再度雲行きが怪しくなり、雹が降り出した。下山したところで再び雲は晴れたが、天候が目まぐるしく変化する1日となった。

■写真



若草山山頂からの眺め



集合写真